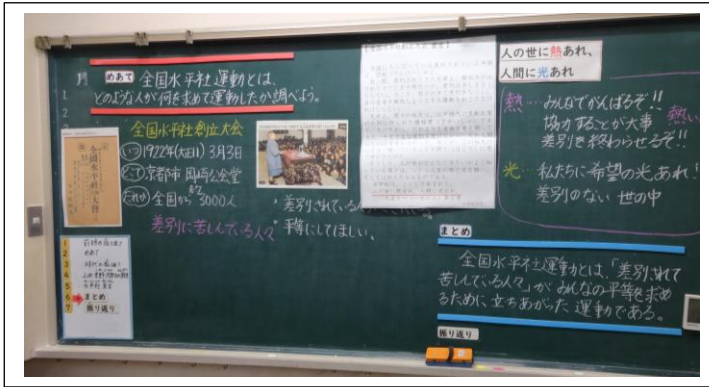
	りゅう	おう	令和7年度 学校通信12月 (No.7)
	<h1>龍王</h1>		飯塚市立八木山小学校
			令和7年11月25日 文責 安藤 泰生

「差別に気づき、差別をなくす子どもに」

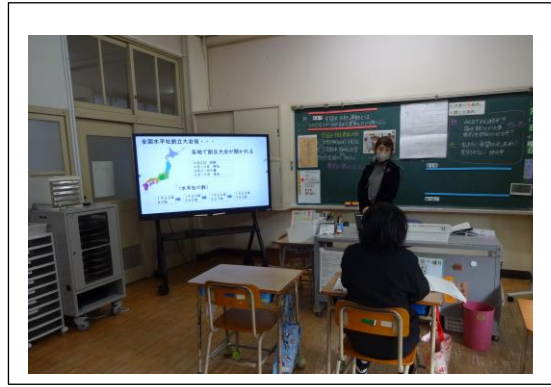
本年度の教育の重点目標「基礎・基本を身に付けた子どもの育成」です。その基礎・基本には、人権感覚を養い、差別（いじめを含む）に気づき、差別になくそうとすることも含まれます。そのために、本校では、1年生から6年生まで人権教育を行っています。そして、6年社会科では、過去の歴史から部落差別がつくられてきたこと、その差別のおかしさ、差別を受けてきた人々の立ち上がりの力強さ等を学び、「自分だったら、どう思うのか。どうするのか。」等、自分事として考える部落問題学習を行っています。

先日、資料「全国水平社創立大会での山田少年の訴え」や「全国水平社宣言の『人間の世に熱あれ 人間に光あれ』」を通して考える授業（写真1）では、子どもは山田少年の訴えに共感し、水平社運動が全国に広がったことに「(差別をなくすために、立ち上がった)人ってすごい。」(写真2)、「(本当に差別をなくすために、同じ思いを持つ人を増やすには)言い続けな」と、いう意見を持つことができました。

このような学びは、今後求められている持続可能な社会形成に必要な資質・能力を育てるとても大切な学習になっていくと考えます。



(写真1 学習後の黒板の記録)



(写真2 運動の広がりについて考える)

「手話教室をしました！」

11月17日(月)に、「手話の会」(主催:飯塚市社会福祉協議会)の皆さんを招いて、全校で「耳が聞こえない状態の人『ろう者』の方」と手話通訳の方と一緒に手話について学習をしました(写真1)。子ども達は、事前に手話のあいさつや自分の名前を学習していました。そして、自己紹介をし合う場面(写真2)では、覚えた手話を思い出しながら一生懸命手話で伝えることができました。

子ども達の中には、自分の気持ちを言葉に表すことがとても苦手な子もいます。ですから、周りの子ども達は、ゆっくり話し始めるまで待ったり、言いたそうなことを代わりに言って助けたりしながら応援していました。そうして、全員が感想を言うことができました。



(写真1 指文字を習っている様子)



(写真2 手話で自己紹介をしている様子)

- ・1年「しゅわは、むずかしかったです。みぶりでぼくがサッカーを好きなことをつたえれました。」
- ・2年「どうぶつあてクイズがたのしかったです。こんど『のりもの』の手わをおしえてください。」
- ・3年「耳がきこえない人には、手話は大切なことばだと思いました。これから手話をおぼえて手話をわからない人におしえたいです。」
- ・3年「むずかしい手話や大事な手話をおぼえたいです。『ありがとうの花』という歌で、ありがとうの手話をおぼえていたからすぐにわかりました。手話でしゃべれて楽しかったです。」
- ・4年「わかったことは、手話をおぼえていなかったけど、手話教室でわかりました。耳がきこえない人にだいじなほうそうがながれているときに、『なっているよ。にげよう。』と言いたいです。」
- ・4年「クイズを全問せいはいできたのが、うれしかったです。だから、もっと手話をべんきょうしたくなりました。」
- ・6年「手話をできるところまで覚えて、困っているときやきんきゅうの時に助けられるようになりたいです。今日は来てくれてありがとうございます。もっと手話を覚えられるようにがんばります！」

(参加児童7名)

「お礼とお知らせ」

- 11月4日(火曜日)の八木山小「学校開放日」に多くの方に参観いただき、ありがとうございました！また、1・2年の生活科「昔遊び」や3年の総合「八木山の人材マップづくり」にご協力いただいた皆様もありがとうございました。

今後とも、ご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

☆ 12月21日(日)「八木山小ふれあいフェスタ」を開催します ☆

子ども達による「感謝のメッセージを伝える会」、地域の方による「門松づくり」、みんなで「もちつき」を予定しています。豚汁なども振舞います。

保護者・地域の皆様の参加をお待ちしております！〔8:30開始〕